

まちの「今」をお届けします

文部科学大臣表彰（学校給食表彰）
上土井政恵栄養教諭が受賞

学校給食の実施に関し、優れた業績を挙げたとして、高千帆中学校栄養教諭の上土井政恵さん（写真右から2人目）が令和3年度文部科学大臣表彰（学校給食表彰）を受賞され、10月27日、市役所で長谷川裕教育長（写真右）から表彰状が伝達されました。

学校給食表彰とは、学校給食の普及と充実を図るため、優秀な成果を挙げた学校・共同調理場を「学校給食優良学校等」、個人・給食関係団体を「学校給食功労者」として全国表彰するもので、上土井さんは「学校給食功労者」16人のうちの1人として県内で唯一受賞されました。

現在は職場である市学校給食センターで、栄養バランスのとれた給食メニューを市内の栄養教諭3人で協議し、旬のものや地元の食材を取り入れることにこだわって作成しています。また、公立小中学校での長年の勤務経験を生かして、市内の学校の出前講座で児童・生徒に食の大切さを教える食育教育を行っています。

上土井さんは「これからも学校給食を通じて、食は人生を豊かにするということを伝えていきたい」と抱負を語りました。



文部科学省地方教育行政功労者表彰
砂川功教育委員が受賞

本市の教育委員で砂川小児科医院（住吉本町一丁目）の院長である砂川功さん（写真中央）が、令和3年度地方教育行政功労者表彰を受賞されました。10月27日に文部科学省で行われた表彰式に出席され、その報告のため、11月11日、市長を表敬訪問されました。

地方教育行政功労者表彰とは、地方教育行政の発展に資するため、その功労が特に顕著な教育委員会の委員または教育長を文部科学大臣が表彰するものです。

砂川委員は、平成20年（2008年）に教育委員に就任。医師としての知見を発揮し、学校における食物アレルギーの除去食について助言するなど、安心・安全な学校給食の提供やアレルギー対応に貢献されてきました。また、市内の小中学校や幼稚園の普通教室に設置されたエアコンを適切かつ効果的に使用するため、運用指針の設定にも貢献されました。

砂川委員の報告を受けた藤田剛二市長は「うれしいニュースを届けていただいた」と受賞をたたえるとともに、長年にわたる功績に感謝の意を述べました。また、砂川委員は「今後も協力や助言ができれば」と喜びを語りました。